中央公民館図書室

開館日：火曜～日曜
開館時間：午前９時～午後５時
※土日祝の正午～午後1時は職員不在のためご利用いただけません。
☎83-2239 社会教育係

公式インスタグラム
TOYOURA.LIBRARY

＼協力隊が行く！／

とようら町人（まちびと）リレー ～町民の皆さんと本の話～

豊浦町の図書室にやってきた地域おこし協力隊の木村が、“まちびと”にリレー形式で出会いにゆき、本にまつわるアレやコレやをお話する企画。次に伺うのはあなたのお家かも…！！

前回：第七町人（まちびと）
吉川 枝穂（よしかわ しほ）さん からのご紹介

第八町人（まちびと）
片岡 真里（かたおか まり）さん

前回の町人、吉川さんからご紹介いただいたのは同級生。松月堂の片岡真里さんです。

木　村：第一回目の町人インタビューで、藤原さんから松月堂のパンをいただいたのは良い思い出です。パン屋さんって朝早いイメージですが、何時頃から働かれてるんですか？

片岡さん：だいたい夜の22時に起きて……

木　村：え……？　あ、すみません素が出ました。夜……衝撃です。

片岡さん：そうなりますよね、大体みなさん驚かれます。出荷が8時頃で、作った後に冷ます時間もあって。

木　村：パン屋さんといっても自店販売と、出荷する製品販売とでまた大分違ってきますね。それでは本題ですが、本について伺っていて、何か思い入れのある本などありますか？

片岡さん：持ってきました！百人一首をやっていて、句を覚えるために読んでいた本と、専門学生時代に勉強していたパンの本です。

木　村：パンの本は配分や温度の話など詳しく載っていて、奥が深そう……。百人一首の本は漫画で読みやすいですね。百人一首されるんですか！

片岡さん：好きなんですけど、誰も相手してくれないんですよね、木札で昔の文字が読めないって……。

木　村：あの……実はちょうど常連さんが、不要になったからどなたかにと百人一首を置いてってくれたんですけど（写真右）……要りませんか？

片岡さん：え！そんな、いいんですか？！普通の文字だから、これなら友達もやってくれるかも！

図書室ではこんなことが日常茶飯事。大きな図書館しか行ったことがなかった私は、常連の皆さんが話しかけてくれたり差し入れをくれたりすることに、着任当初からずっと驚いています。利用者さん同士が繋がることも多いです。今回もまた素敵な出会いでした！百人一首というギャップを持つ、癒し系の片岡さんが繋いでくれた次の町人は、、、あなたかも！？

図書室に質問！ 図書室の本ってどうやって選んでるの？

よく聞かれる質問に答えます！　図書室の本は「豊浦町 中央公民館 図書室 選書基準」にのっとり、教育委員会で選書しています。（選書基準はネットで検索すると見ることができます。）選書基準を簡単にまとめると、「ジャンルや思想など偏らず、まんべんなく・幅広くそろえる」、「専門的ではなく一般的でわかりやすい入門書を選ぶ」、「利用者の要求に基づくが、一部の利用者だけでなく、多くの利用者の想定される要求を考えて選ぶ」といった内容です。蔵書をバランスよく揃えるというのは、簡単なように見えてとても難しいです。

新刊については、新刊がまとまっているカタログ冊子が毎週届き、その中から選書。他に新聞や雑誌等で話題になっているものにも目を向けます。書店の並びを見たり、全国の図書館のSNSも参考にしています。しかし、豊浦町の図書室はリクエストの比率が高いと思います。なるべく町の皆さんの要望にお応えしたいと思っていますので、ぜひお気軽にリクエスト用紙をご利用ください。